

特定非営利活動法人 三重県歯科衛生士会の取組

平成21年度の取組と成果

昨年度に引き続き4地域において三重県健康福祉部「健康づくり室」からの依頼による『まちの保健室』を看護協会と協働開催し、地域住民にお口の健康を維持することの大切さを理解していただく健康教育を行ないました。

障がい者リハビリ施設や介護施設関係の方々には口腔ケアの重要性を講義し、指導させて頂きました。

学術団体として研修会等を積極的に行い会員のスキルアップを図るとともに歯科医師会による『8020推進委員研修会』においてモデル事業を行った各地域の関わり方などについて発表をし、今後の関わり方について一層の努力を重ね、会として取り組む方向性を確認しました。

三重県歯科医師会からの協力依頼で『フッ素洗口推進モデル事業』に参加してフッ素洗口推進のための事業に取り組みました

介護予防事業『おいしく楽しく安全に食べる』ための機能向上訓練実施施設を増加すべく各地域において講演活動を行い啓蒙に努めました。

各地域包括支援センターと協力して、老人会や地域の集まりに参加し介護予防事業を行いました。

平成22年度に取り組む数値目標

「ヘルシーピープルみえ・22」及び各市町村が掲げる口腔に関する各数値目標に近づけるように会として努力します。

介護予防事業における口腔機能向上を行う施設の数が2.5%以上になるよう努めます。

目標達成に向けた取組の内容

・地域保健活動

各市町で実施される母子保健事業に積極的に参加し対象者に対する健康教育および啓発活動を行ないます。

『まちの保健室』を継続し地域に密着した活動を行ない幅広い年齢層を対象に保健指導を行い健口維持の大切さをアピールし『食育』を通して『カミング30』を推進した保健活動を行ないます。

中学生対象の歯周病予防啓発のモデル校を選定し中学生の歯周病と喫煙に関する調査事業を行います。

・介護予防事業

『口腔機能向上』を普及させ、各地域包括支援センターと協力して高齢者支援を行ない、健口を維持増進する為の教室を会員協力のもと各地で開催していきます。

地域ケア推進の一担い手として医療、行政、福祉の様々な職種との連携に取り組み、積極的に会議に参加し「地域連携クリティカルパスの普及」「退院時・退所時ケアカンファレンスの普及」に努め、他職種との連携をはかる方法を検討し、地域共助の構築について会員に周知する

・会員の資質向上に向けた研修の実施

県民の保健、医療、福祉の増進に寄与することを目的として専門性の高い歯科衛

生業務を行えるよう、生活習慣病予防、在宅療養指導、摂食嚥下リハビリテーション、障害者歯科等の各認定歯科衛生士を増員すべく会員への積極的な啓発を行い、認定取得のための事前研修を行っていきます。